

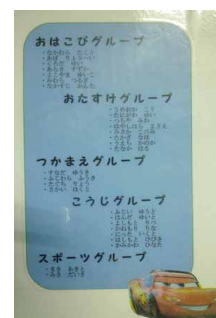
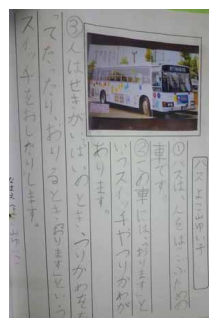
言語活動の充実に関する実践事例

学校名(尾道市立向島中央小学校)

- ① 教科等 国語科 ② 学年 第1学年
 ③ 単元名 おきに入りの車ずかんをつくろう 「いろいろなふね」
 ④ 単元の目標 観点に基づいて順序よく繰り返し説明されていることや事例同士の関係を正しく読み取ることができる。
 ⑤ 単元の指導計画 (全10時間)

次(時)	学 習 内 容	評 価 の 観 点				
		関	読	伝	評価規準	評価方法
一 次 (2)	1 題名読みをする。教材文を読み、初読の感想を書く。(1)	◎	○		・書かれている内容や筆者の意図を積極的に考えようとしている。 ・気づいたことや初めて知ったこと、疑問などをもって教材文を読むことができる。	・ノート ・発言
	2 疑問や感想を交流し、「おきに入りの車ずかん」をつくるための学習課題を持つ。(1)		○		・お互いの考えを聞き合って、ずかん作りに向け、課題意識をもつ。	・行動観察
二 次 (5)	～「おきに入りの車ずかん」をつくるために～					
	3 まとまりを捉え、話の大体をつかむ。(1)		◎		・「はじめ」「なか」「おわり」の構成を理解することができる。	・発言 ・ノート
	4 事例3までの説明の内容を観点に沿って読み取る。(2)	○	◎		・観点を明確にしながら、各々の船の特徴を読み取ることができる。	・発言 ・ノート
	5 事例4を観点に沿って読み取り、説明の順序やまとまりを読み取る。(1)本時 6/10	○	◎		・観点に沿った説明の順序に着目し4つの事例を大きく2つのまとまりに分けて読み取る。	・発言 ・ノート
6 「おわり」の内容を事例で取り上げた説明と関係付けて正しく読み取る。(1)	○	◎		・4つの事例の取り上げ方から、筆者の伝えなかったことについて、自分の考えをもつことができる。	・発言 ・ノート	
三 次 (3)	7 既習事項をもとに「おきに入りの車ずかん」を書く。(3) ・車についての本を読み、お気に入りの車を選ぶ。 ・紹介カードを書き、お気に入りの車を紹介する。 ・「おきに入りの車ずかん」をつくるために、各々のカードをどの順番で配列するか考える。		◎	○	・お気に入りの車を選ぶことができる。 ・どのような観点で紹介するのかを明らかにすることができる。 ・各々の事例としてのカードを根拠を明確にして、役割別にいくつかのまとまりに分けることができる。	・行動観察 ・作品 ・発言 ・ノート

〔言語活動の充実〕



設定した言語活動を通して育てたい力

- 主語と述語の照応に注意して読んだり書いたりすることができる。
- 事例を挙げて説明するとき、観点を明確にして順序よく説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- お気に入りの車を選び、観点を明確にして情報を集めさせる。
- 観点に基づいて、お気に入りの車の紹介カードを書かせる。
- 各々のカードをどの順番で配列するとよいか考えさせる。